

自動車、鉄道・バスの評価

「交通機関に対する評価」や「自動車社会での都市交通の方向性」についてアンケート調査を実施し、約4,500世帯から回答がありました。

●自動車の評価

- ・評価が高かった項目は「好きな時間に出かけることができる」「大きな荷物の買物に便利」、評価が低かった項目は「迷惑な中心部の違法駐車」「沿道地域の大气汚染や騒音」でした。

●鉄道の評価

- ・評価が高かった項目は「運行時間が正確であること」、「移動が楽であること」、評価が低かった項目は「ラッシュ時の混雑」、「駅前広場の整備の遅れ」でした。

●バスの評価

- ・評価が高かった項目は「移動が楽である」、評価が低かった項目は「車内の混雑」、「バス停でベンチ等がない」、「時刻表どおりに来ない」でした。

表 都市圏住民の自動車・鉄道・バスの評価

	評価が高い項目	評価が低い項目
自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな時間に出かけることができる (92%) ・大きな荷物の買物に便利 (86%) ・行動範囲が広がって遠出ができる (86%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・迷惑な中心部の違法駐車 (92%) ・沿道地域の大气汚染や騒音 (86%) ・交通事故が増える (86%) ・バス利用者が減ってバスが不便になる (92%)
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・運行時間が正確である (96%) ・自分で運転する必要がないから楽である (86%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラッシュ時間帯に車両が混雑する (77%) ・駅前広場が整備された駅が少ない (54%)
バス	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で運転する必要がないから楽である (75%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラッシュ時間帯に車両が混雑する (77%) ・バス停に屋根やベンチがない (77%) ・時間通りに来ない (76%)

() は「非常にそう思う」または「ややそう思う」と回答した人の割合
仙台都市圏の都市交通に関する意識調査結果より作成

自動車社会へのこれからの取り組み

「意見②（公共交通を中心とした交通政策を重視するべき）」に近い(回答者の約64%)」が意見①（自動車交通を中心とした交通政策を重視するべき）」に近い(回答者の約26%)を大きく上回りました。

毎日自動車を運転する人でも、「意見②に近い（約53%）」が「意見①に近い（約37%）」を上回りました。

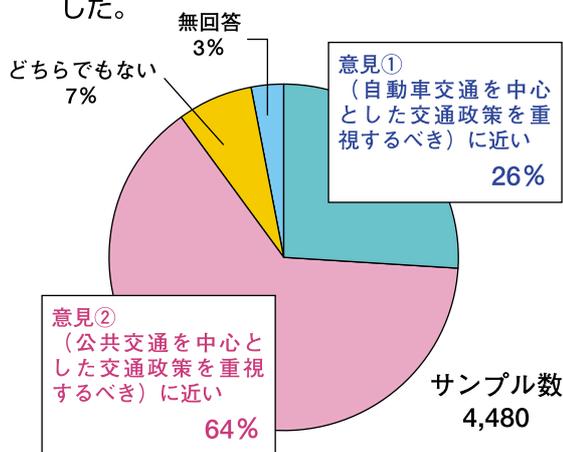


図 自動車社会へのこれからの取り組みについての意見の割合

仙台都市圏の都市交通に関する意識調査結果より作成

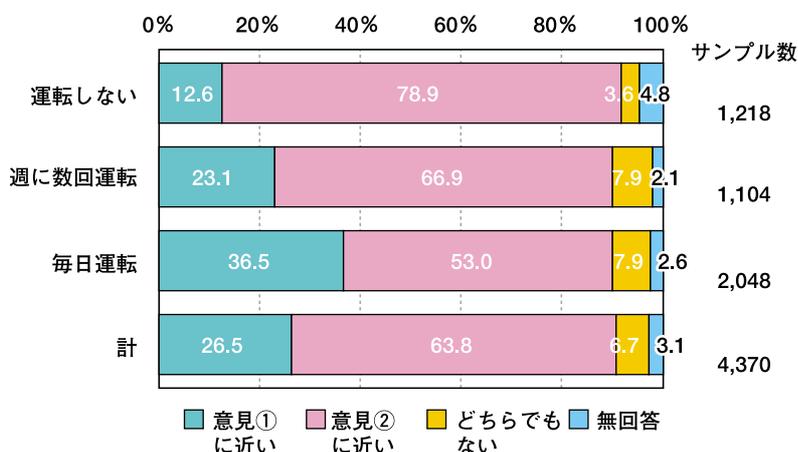


図 運転頻度別にみた自動車社会へのこれからの取り組みについての意見の割合

仙台都市圏の都市交通に関する意識調査結果より作成